

2016・2017年度 研究課題の募集について

2016・2017年度の研究課題を募集します。学術委員会規約及び研究助成金細則(学会ホームページ→JASTROについて→学術委員会の頁)を参照して、研究課題申請書を下記の要領で作成し、2016年3月24日(木)までに郵送(必着)あるいはメールにて応募してください。採用課題については学会より研究費の助成が行われます。

課題

1) 一般 : 特に分野の制限はありません

2016・2017年度研究課題申請書(一般)

研究代表者(ふりがな) :

所属・職名 :

住所 :

(電話

FAX

e-mail

会員番号

)

研究課題名 : (和文)

(英文) 研究組織(研究代表者及び参

加者の氏名、所属) : 研究目的 :

研究を必要とする背景 :

2年後の研究達成目標 : 研

究計画概要(具体的に) :

2016年度、2017年度 当学会研究費

以外の支援経済基盤(班研究など) : その他(他学

会との関係など) : 参考資料(論文など) :

送付先 〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル5F

公益社団法人日本放射線腫瘍学会 学術委員会宛

TEL : 03-3527-9971

FAX : 03-3527-9973

e-mail : jastro-office@jastro.jp

(注) 本研究会として採択可能な課題は、標準的治療法についてのガイドラインまたはコンセンサス作成、retrospectiveな調査研究、prospective studyを行うための基礎データ作り、その他学会として行うべきと判断された調査研究、などです。多施設共同臨床試験、prospective study、あるいは抗がん剤を用いる臨床試験などは、本委員会の研究に馴染みにくいため、人的・財政的基礎のある組織(例えばJROSG)にまかせるのが妥当と考えていますが、今回よりプロトコールコンセプト作成は採択可能とします。

参考) 実施中の研究課題、代表者

1年目 : 1. 乳房照射の照射方法について調査を踏まえた標準化に関する研究 : 相部 則博

2. oligometastases状態の転移性肺腫瘍に対する体幹部定位放射線治療の全国遡及的調査研究 : 新部 譲

2年目 : 1. 頭蓋内治療における圧力センサを用いた Intra-Fractional Motion 検知システムの開発 : 稲田 宏規

2. 子宮頸癌に対するCTを用いた Image-guided brachytherapy における高リスクCTVに関する多施設共同研究 : 大野 達也